

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
公 民	政 治 経 済	2	3	理系NP	10, 11

教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）	副教材	政治・経済資料（東京法令出版）

科目の目標	1. 18歳選挙権をふまえ、日本の政治のしくみを理解させ、政治への関心を高める。
	2. マクロ経済学を学ぶことで、一国の経済を数値的に捉える能力を身につける。
	3. 第二次世界大戦後の政治・経済・文化にわたる相互依存関係について考察する。

科目の概要	政治分野については、基本的人権の保障から日本の政治のしくみ（国会・内閣・裁判所・地方自治・政党・選挙）を、
	経済分野については、マクロ経済・金融・財政・日本経済について学ぶ。また、国際分野については第二次世界大戦
	を契機とした政治・経済・文化の変化を、日本の外交と関連させながら学ぶ。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」⑦「協働力」	⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に活用している。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	基本的人権の保障と新しい人権 ① 平等権（両性の本質的平等，選挙権の平等，教育の機会均等） ② 自由権（精神の自由，人身の自由，経済の自由） ③ 社会権（生存権，教育を受ける権利，労働基本権） ④ 参政権（国民審査，特別法の住民投票，憲法改正の住民投票） ⑤ 請求権（請願権，損失補償請求権，刑事補償請求権） ⑥ 新しい人権（環境権，知る権利，プライバシーの権利，アクセス権） 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	・個人の尊厳，自由，平等などの社会的価値について把握しながら，権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権，参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め，その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用し，権利と義務との関係や，「公共の福祉」の概念について理解する。
	国会の組織と立法 ① 国会の地位と構成 ② 国会の権限 ③ 国会の運営 内閣の機能と行政 ① 内閣と国会の関係 ② 内閣総理大臣と内閣の権限 裁判所の機能と司法制度 ① 司法権の独立 ② 裁判制度 ③ 裁判における権利保障 地方自治制度と住民の権利 ① 地方自治の本旨 ② 地方公共団体の機関と権限 ③ 住民の権利と住民運動 ④ 地方分権の推進 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	・国会，内閣，裁判所などの政治機構にふれながら，主権者としての政治に対する関心を高めるとともに，それぞれの役割について理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について，問題点も含め幅広い視点から考察する。 ・裁判員制度から国民の司法参加の意義を考察するとともに，刑罰の意義について関心を高める。 ・地方自治の本旨を把握し，地方分権と住民の権利について理解し，国と地方の関係を考察する。
2 学 期	政党政治と選挙制度 ① 政党の役割 ② 日本の政党政治の変遷と課題 ③ 選挙制度 財政のしくみとはたらき ① 財政の役割 ② 予算と財政投融资 ③ 租税の意義と役割 金融のしくみとはたらき ① 貨幣と通貨 ② 金融市場のしくみ ③ 銀行の役割と機能 ④ 日本銀行の金融政策 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	・政党政治や選挙，国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解し，政治への関心を高める。 ・財政の基本的なしくみや役割，租税の意義について理解し，その用途について関心を高める。 ・金融のしくみと金融政策，現代の金融を取り巻く課題について，複数のことがらを主体的に見出すことで，将来の主権者としての意識を高める。
	現代の国際政治と日本 ① 国際社会と国際法 ② 国際連合の組織と役割 ③ 国際政治の動向 ④ 国際紛争と難民問題 ⑤ 軍備管理と軍縮 ⑥ 日本の外交と国際平和への役割 国民経済と国際経済 ① 国際経済のしくみ ② 国際協調と国際経済機関の役割 ③ 地域的経済統合 ④ グローバル化する経済 ⑤ 南北問題と日本の役割 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら，国際連合の役割について理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに，冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 ・国際経済の基本的な概念や理論を理解する。 ・グローバル化に伴うヒト，モノ，カネの国際的な移動が，国際経済に与える影響について，関心を高める。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて，さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。